



**薬研の使い方**  
円盤状の薬研車を前後に動かして、粉末にしたり、すりつぶしたりします。



**藤野昌言の使用していた薬研**  
図書館本館に展示しています。  
※新型コロナウイルスの影響で、図書館が休館や利用制限をする場合があります。

# ふちゅう歴史散歩

コレラに立ち向かった医者  
藤野昌言の薬研

Vol.110

コレラは、江戸時代終わりの文政5(1822)年から、たびたび流行した恐ろしい感染症です。明治12(1879)年、日本全国でコレラが大流行し、多くの人が亡くなりました。藤野昌言をはじめ医者たちは、自らが感染する危険を冒して治療に当たりましたが、昌言もコレラに感染して亡くなりました。

上の写真は、昌言の使っていた薬研です。鉄製で中央のくぼんだ舟のような形をしています。薬の原料をこのくぼんだ部分に入れて細かく砕いていました。多くの人命が、この薬研で作られた薬で救われたことでしょう。

現在、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっています。こうした世界的な感染症や医療現場を取り巻く厳しい状況は、昌言たちがコレラに立ち向かった状況に似ていると言えます。新型コロナウイルスに対する新薬が、早く開発されることが望まれます。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

## ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その67



投稿者 (文と写真)

上下高校3年  
仁井 七海

### 純米吟醸酒「上下あやめ」のラベル制作

私たちは、純米吟醸酒「上下あやめ」についてお酒が製造されるまでにたくさんの工程があることや、いろんな思いが込められて作られているということを学び、ラベルの制作を行いました。

ラベルを作る前にお酒について勉強したり、酒蔵を見学させて頂いたりして、班のみんなと一緒にラベルのイメージを考えました。私たちの班が考えたコンセプトは、数多の星が輝く天の川です。私はこのコンセプトに沿



って真ん中に大きく天の川を描いたり、お酒作りに大切な米を描いたりして、イメージ作りを進めて行きました。

ラベル作りを通して学んだことは、伝えたいことを表すことの難しさです。何を伝えたら良いのかを考えた後に、それをどう表現すれば良いのかも考えながらの作業だったので、コンセプトが上手く伝えられるように描くのがとても大変でした。上下あやめを通して伝わっていると良いと思います。



### 府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45 (そのうちの5分間) RCCラジオ (1530KHz)

今月の放送日 6月1日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。新型コロナウイルスの影響で、電話での出演をお願いしています。

ラジオでも  
聴ける!

公式SNS  
facebook

スマホアプリ  
radiko (ラジオ)

府中市メール配信  
サービス

